

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 暖母		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 17日		～ R7年 2月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24 (回答者数)	22
○従業者評価実施期間	R7年 2月 10日		～ R7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	(評価より抜粋) ・暖母の先生を信頼しています。 ・暖母さんが好きなので、いけなくなるのが寂しいといつも言っています ・学校なしのデイが一番。長期休み中が大好き。 ・安心して過ごせる環境で暖かく楽しく過ごせており大変楽しみにしております。	・支援者としての意図は毎日数多くあるが、子どもたちには楽しみながら取り組むことができる内容であることを支援の柱の一つとしている。内容は毎回試行錯誤している。  子どもたちや保護者にとって「安心して過ごすことの出来る場所」「安心して預けることの出来る場所」となっている	・これまで実施してきた取り組み内容で「有効=子どもたちが楽しみながら取り組むことができた」をベースに、毎回内容を変更するのではなく、あえて同じ内容を繰り返し「各々の子どもたちの目標や課題を設定する」ことで支援を深めていく。 子どもたちにとっては一度成功し自信のある内容だからこそ、また一度体験し内容の見通しがあるからこそ取り組む意欲や子ども自身の試行錯誤する力を刺激することができると思う。
2	(評価より抜粋) ・いつもありがとうございます。大満足です。 ・常に親子共に十分な支援と説明を頂いており大変満足しております。	・モニタリングや個別支援計画には視覚的なアセスメント結果と専門的な視点からの表記でまとめているが、保護者の方へ説明する際には専門的な言葉ではなく、具体的なエピソードを踏まえてお話しすることで理解して頂けるよう工夫している。	・現在事業所外での環境調整が必要なケースが増えてきている為、将来に向けた「汎化」を意識した支援方法を構築していく必要がある。 ・家庭内の支援が必要なケースの対応 →保護者の方のペースとタイミングを配慮しながら実施していく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運営規程、支援プログラムについての説明や周知	・現在、契約前の見学時には暖母の支援プログラムの内容に触れながらお話をさせて頂き、契約時には「契約書」「重要事項説明書」「同意書」に沿ってお話をさせて頂くまで運営規定にも触れながら説明をさせて頂いています。 その後定期的な保護者面談を実施していますが目的が支援内容になっており、限られた時間の中でマニュアル等の話をすることは現実的に難しい状況です。	・左記を踏まえ、現在毎年2回実施している親子レクの企画を活用し(1)(2)の内容に触れ説明する時間を盛り込む内容にステップアップすることを検討しています。
2	・個人情報の取扱い、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル、子どもの安全を確保するための計画についての説明や周知	・また放デイ利用が間もない保護者の方やお仕事をされている保護者の方にとってはお子さんの支援の話につながる内容であっても「聞いてもわかりづらい」「気持ちに余裕がない」「時間的余裕がない」中で、「説明を聞く機会」を事業所が積極的に設定することが負担になることも予測され、なかなか実現が難しく感じている。	・親子レクと同じで繰り返し行うことで参加するタイミングは保護者の方が選ぶことができる様に配慮していけたらと考えています。
3			